

国光スプリング工業株式会社



最新のコンピュータ制御コイリングマシン導入による品質の向上と効率化による優位性の強化



精度の高い加工技術



精度の高い加工を可能とする、多様な設備

最新の「コンピュータ制御コイリングマシン」の導入により、高品質を確保生産性を高め、グローバル競争において優位性を構築

DATA：くにみつスプリングこうぎょう



代表取締役社長・機部 敦

設立年月日：昭和16年6月
住 所：〒485-0802 小牧市大草2036-4
電 話：0568-88-0115
F A X：0568-88-0671
U R L：https://www.kunimitsu.co.jp/
E - M a i l：ko-katou@kunimitsu.co.jp
資 本 金：9,833万円
業 種：精密・極小ばねの設計・製作
従 業 員 数：84人

一貫製造体制を強みとして展開

当社は、「精密小物線ばね」「板ばね」の設計・製造を得意としている。三菱電機グループやCKD株式会社を筆頭に取引基盤を形成しており、半導体製造装置等設備機器・機械・車両など用途は多岐に亘る。

当社の強みは、「金型設計・製作」「治具製作」「電気・NC制御」「設備機械の開発・改造」「ライン化・自動化」などの工程をすべて自社一貫体制で対応している点である。これにより高い品質、コスト削減、短納期を実現するとともに顧客からの要望にも柔軟に対応できる体制を構築している。なかでも生産性向上への意識は高く、機械設備を自社独自にカスタマイズ・プログラミングすることで効率化や高精度加工へと繋げている。



豊富な設備で取引先の要望に迅速に対応

ばね業界のグローバル化と顕在化する課題

近年のばね業界においてはグローバル化が進んでおり、標準的な製品、大量生産品は海外で生産することを余儀なくされる。一方、国内で生産される製品は高度な技術と確かな品質保証体制が要求され、当社としても、ばねの更なる品質向上を目的とした生産体制の構築が求められていた。

生産体制の構築に向けて当社が考えたのは、最新鋭の設備の「コンピュータ制御コイリングマシン」を導入することにより、高品質を確保するとともに、時間当たりの生産量を上げることである。実際に導入したのが板屋製作所製の「コンピュータ制御コイリングマシン」で、NC制御技術における実績や取引先への対応の早さなどから採用を決めた。

新設備導入による品質の向上と効率化

最新設備の導入は、従来よりも線径の太いばねの製造を可能とし、より幅広い製品に当社のばねを提供できるようになった。また、従来はばねの形状を調整するにあたりカムを削ることで対応していたが、コンピュータ制御による微調整が可能となったほか、過去の加工データを活用することで、段取りに要する時間を従来の3.5時間から2.75時間と21%短縮することができた。また、カット刃の寿命を3000個から5000個以上と1.6倍以上に向上できたうえ、切断面のバリも少なくなった。生産量も毎分45個から57個と1.26倍に向上した。更に精密な製品にも対応でき品質も大きく向上した。市場の急速な変化に対応するため実施した「コンピュータ制御コイリングマシン」の導

入に際して、「平成27年度補正ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金」を活用した。

強みを生かした優位性の更なる強化

今回の設備投資によって、「押しばね」「円錐ばね」の製造技術の向上、納期短縮によるコストの削減及び高い品質保証体制を確立することができた。この結果、線径の太い製品の生産性、加工技術を充実させ、品質・コスト・納期において優位性が高まった。海外を含め競合が激化するなか、今後も適宜設備投資を実施するとともに一貫体制を活かした高い生産性で、更なる優位性の維持向上に努め、新規ユーザーの獲得を目指し業績の拡大を図る考えである。